

コリント人への手紙第一 第11章 1節

「私がキリストを見ならっているように、あなたがたも私を見ならってください。」

世界に見ならう方がいるのは幸いです。自分と向き合い、孤軍奮闘しても向き合う自分から脱却できないもどかしさは常にあります。周りを見渡し、一時脱出口が見えたかのように思えるときもあります。新しい自分に出会うきっかけのように見えることもあります。しかし、その出口と思えたところもやはり行き詰まりがあります。先行きでの限界状況を孕みながらも見ならわざるを得ないでしょうか。先行き不安をかかえながらも見ならうべきでしょうか。そのような現実もあります。しかし、そうではない真実があります。

私が、と明らかにし、キリストを見ならっていることを断言します。私とキリストとの関係を明確にします。そこには微塵の疑いもなく、将来への不確かさもありません。見ならうキリストが完全盤石不動なる対象として宣言されています。そのうえで、私が見ならうように、あなたがたも私を見ならってください、と勧めます。先んじてキリストを見ならっている者が、そのように見ならうことを勧めます。見ならいの人生に祝福され、キリストを見ならう歩みにさらなる祝福があり、この道は行き詰まりと無縁であることを確信しての勧めです。世でただおひとり見ならうべきお方、キリストを私が見ならうように。

2023年5月27日